

令和6年第3回定例会 個人質問



QRコードから
議会の映像が
見れます ▲

2024年9月19日



問 魅力ある松原市の学校づくりについてお聞きします。

学力向上に向けた多様な取り組みについての質問ですが、これまでの学力と言えば「計算や漢字といった数字や点数で測れる学習の結果」とのイメージが強く感じられるが、それだけではない様々な力が必要だと感じます。教育長の答弁にもあったキャリア教育の視点から学びのモチベーションを高めるとありましたが、具体的な取り組みについてお聞かせください。



答 子どもたちに求められる学力は学問の知識はもちろんのこと、創造性や問題解決能力、コミュニケーションスキル、協調性や柔軟性など、これからの予測困難な未来社会をたくましく生きていくための総合的な力であると考えております。人が生涯の中で様々な役割を果たす過程で、自らの役割の価値や自分との関係を見いだし積み重ねが、「キャリア」とであるとされています。教育委員会としましては、今後も基礎的な知能技能の定着を図る授業づくりと、学びへのモチベーションを高めるキャリア教育を車の両輪として、学力向上を進めてまいります。

問 小中一貫した学校づくりについてお聞きします。

未来の宝である子どもたちへの教育環境整備については何回か質問をさせていただきました。今後、小中一貫した学校づくりについてどのようにお考えなのか、施設一体型についても併せて聞かせてください。



答 本市においては、小学校から中学校まで9年間を通した子どもたちの成長を目指し、以前より全ての中学校校区で小中学校が連携した活動を行っております。施設一体型の小中学校づくりについてもその一方策と考えております。施設のあり方も含め、今後も小中学校が連携した魅力ある教育を推進することで、松原の子どもたちにとってより良い教育環境を追求し、施設一体型についても前向きに検討してまいります。

問 子どもたちが万博に参加するための条件づくりについてお聞きします。

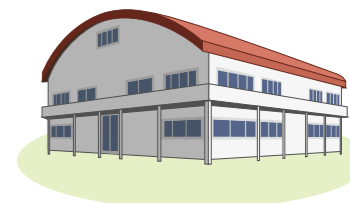
大阪府が子どもたちを万博に招待することで、バスや電車での交通費の負担も大きいと考えられます。また、引率の先生が、道中や開催会場内での安全性を確認することも、重要なポイントであると考えられます。今後、どのように大阪府に確認していくのか、市としてのお考えをお聞かせください。

答 大阪万博を通じて多様な文化、科学技術に触れることや国際交流を直接体験することの教育の意義は大きいものと考えております。現在は万博への参加に向けて日程や移動手段についての調整を行っているところでございます。また、安全面につきましては、実施主体である日本国際博覧会協会から防災実施計画をはじめとする、具体的な計画が示されております。子どもたちの安全な引率に向けて、事前の詳細な情報提供や、早い段階での下見等も踏まえ、交通費負担軽減の要望も引き続き大阪府教育委員会へ要望してまいります。

問 賑わいの街づくりについてお聞きします。

老朽化施設に伴う事業計画について、どのように示しているのか、市としての見解をお聞かせください。また、市民プールの大規模改修から6年がたち、当初は10年を維持したいとの答弁がありました。あと4年しかない状況の中で、建て替えを考えるのか、リニューアルをするのかを、決めないといけない状況となっております。今後の市民プールの対応について、松原市の方向性をお聞かせください。

答 老朽化施設に伴う事業計画でございますが、令和3年3月に策定した松原市個別施設計画及び令和4年3月に改訂された松原市公共施設等総合管理計画に基づき、中長期的な視点を持って市が保有する公共施設の総合的かつ計画的な管理を進めているものでございます。今後も当該計画に基づき、公共施設に係る長寿命化等の対策を行い、将来の改修や更新費用に対し、適切な維持管理に努め、施設の有効活用を図ってまいります。また、市民プールについては議員のご指摘通り、今後の方向性について早急に示してまいります。



問 大塚運動広場のリニューアルについてお考えをお聞かせください。

大塚運動広場は、今までも様々な提案もさせていただきました。松原市からも前向きな答弁をさせていただいており、リニューアルするのであれば老朽化した松原市民運動広場と大塚運動広場を統合し、財源の確保も視野に入れながら松原市の新たなランドマークとなるような施設へと生まれ変わらせていただきたいと期待をしております。現段階で松原市が描いている整備内容についてお考えをお聞かせください。



答 大塚運動広場は、昭和48年の開設から健康増進やスポーツレクリエーション活動の場として、多くの方に楽しんでいただいております。本施設は、施設改修から30年以上が経過していることを踏まえ、施設のリニューアルに向け、これまでの民間のノウハウを取り入れた施設整備や管理運営の手法について検討し、現在は、周辺地域の用地取得にも着手しているところです。今後につきましても、本施設の立地性を活かし、より一層魅力的な施設となるよう検討を進めてまいります。

問 土地区画整理事業の効果について、区画整理事業についてお聞かせください。

松原市が手掛けてきた土地区画整理事業の効果について、また、新たな区画整理事業についてどのように進めて行くのか、その内容をお聞かせください。

答 今まで手掛けてきた土地区画整理事業については、道路や公園などの公共施設の整備や土地利用の促進を図るもので、雇用や賑わいの創出など、地域の活性化に大きく寄与するものです。天美東地区では本市初の大型複合商業施設のセブンパーク天美が、また、新堂4丁目地区ではイオンタウン松原や本州発売店で話題となったハンズマンがオープンし、雇用や賑わいが創出されています。三宅西地区では、大型物流センターや新聞印刷工場などが立地予定であり、また、丹南地区においては、今年度事業化に向けた準備組合の設立を目指しております。

問 調整区域についてお聞かせください。

松原市にはまだまだ開発のできる調整区域があり、沿道線の活性化や企業立地の促進を図り、若林・小川北東地域の活性化等、地域の方への丁寧な説明をしながら活性化を目指した取組を進めていただきたいと思いますが、市としてのお考えをお聞かせください。



答 今後も人・モノの交流によるまちづくりをテーマに、地元の方への具体的な説明も踏まえ、検討を行っているところでございます。今後につきましても、本市発展に寄与する土地区画整理事業をはじめとしたまちづくりについて、更に進めてまいります。

問 いきがい健康増進の取り組みについてお聞きします。

これまでもいきがいを持ち、健康増進の取り組みを進めてこられました。現状では、定年制度が伸びていることを踏まえ、シルバー人材確保が難しくなると懸念しております。新たな人材確保の取り組みについて、どのようにお考えなのか、お聞かせください。

答 本市におきましては、老人福祉センターにおける趣味やサークル活動や、元希者カフェなどの居場所づくり、介護予防教室などを開催し、高齢者の社会参加と健康寿命の延伸に努めているところでございます。また、シルバー人材センターに対し、会員の拡大や就業機会の拡充を図り、今後も人材確保に向けた更なる取り組みを進めてまいります。

